

蔵六庵(観音堂)

曹洞宗に属し十一面観音菩薩が本尊です。天正16年(1588)建立の十一面観音が祭られており、今の観音堂は1000年後後の貞享2年(1685)再建と記されています。
明和元年(1764)玉祥寺大前天寧和尚開基とも残されており、隈府の町や付近の村々が延命・子孫繁栄・後生安穩を願う十一面観音菩薩を勧請し、後に玉祥寺の末寺になったようです。今でも安産祈願などの信仰があり、菊池33観音札所の打ち留め、33番札所です。蔵六という名前は、禅宗僧侶の役職「僧録」が働く「僧録庵」が転じて「蔵六庵」となりました。蔵六庵は、高野瀬区の皆さんにより大切に守られています。



認定番号第ふるさとH24-25号
推薦者 高野瀬区

永山の堂さん

永山の堂さんには、2棟の堂があり、右の薬師如来様は明和4年開眼、左の観音様は寛永11年建立とされています。
守の観音、如来さんと称され、4月8日がお釈迦様の誕生日であることから、毎月8日にはお薬つさんといふ朝から村の人たちが集まり、1日中感謝の念で過ごします。また毎年2月7日(永山大火の日)には、堂にこもり火除けを祈願しています(火伏せ)。
永山の人々にとって堂さんは、生活の一部として存在してはいるが、なくてはならない存在です。これからも毎月8日のお薬つさんと毎年2月7日の火伏せを継承し、永山の宝として堂さんを守っていきます。

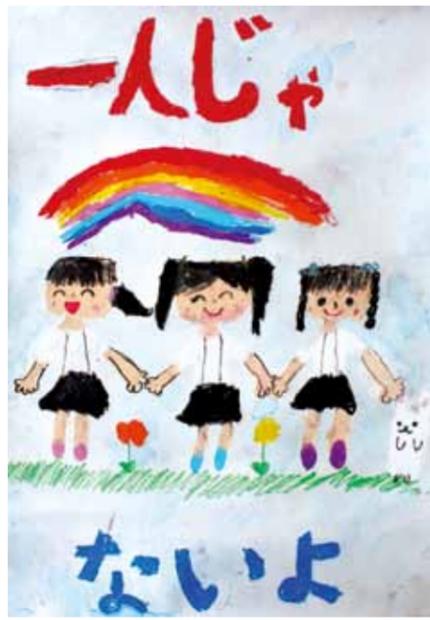


認定番号第ふるさとH24-26号
推薦者 永山堂さん保存会

平成25年度菊池市人権フェスティバル出品作品

特選「だいきながっこ」

戸崎小学校2年 かわぐちももかわたしのすきなごっこ
ひみつきち ぶらんこ うんてい
シーソー
きょうしつ としよしつ おんがく
くしつ たいくかん
でもともだちがいなくてたのしくない
だてていっしょにあそべないんだもん
ぶらんこがあってもうんていがあってもつまらない
さみしくて ないちゃんかもしれ
ない
ひとりじゃいやだもん ひとりじ



(特選) 隈府小学校4年
佐藤真耶さん



(特選) 平成25年度泗水中学校卒業
山本真緒華さん

入選「友達」

戸崎小学校5年 内藤尋己
ぼくの友達
ぼくの大事な宝物
ぼくらは仲良し
うれしいな

ぼくの友達
みんなに会える喜び
明日も会えるかな
会えたらいいな
ぼくの友達
みんなに会えたら
みんなといっぱい遊ぶんだ
遊べばもっと仲良しだ

わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

航空写真展 SKY STREAM

期間 5月8日(木)～5月25日(日)
飛行機をさまざまな角度から捉えた写真展です。ぜひご来館ください。お待ちしております。

松村洋一写真展「椎葉村四季一人旅」

期間 5月27日(火)～6月8日(日)
今回は「椎葉村四季一人旅」と題して10年にわたり撮影してきた宮崎県椎葉村の風景を25点展示します。ぜひご覧ください。

まちかど資料館・企画展示室

4校閉校物語り展「さようなら そして ありがとう!」
期間 ～7月27日(日)
平成25年に迫水・龍門・水源・河原小学校の4校がそれぞれの思い出とともに永い歴史に幕を閉じました。4校の学舎を巣立った卒業生、そして温かく導いてくださった恩師や地域の人々に思い出の母校を回想していただけたらと思います。
※休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968(23)1155

第6回色紙展(菖之花) 杉本保子

期間 ～5月6日(火祝)
梅野秀和写真展
期間 5月8日(木)～5月18日(日)
九州各地にある有名無名の一本桜。あるものは華やかに、またあるものはひっそりと佇む。そんな桜を撮り下ろした最新作30点ほど展示します。



鳥よ花よ展

期間 5月20日(火)～6月1日(日)
4年ぶりの二人展です。花や風景の水彩画、野鳥の写真を展示します。新緑の菊池へお出かけください。



菊池温泉湧出60周年展 期間 ～10月30日(木)

開館時間 午前9時～午後6時
※期間中の閉館日はありません。

ふるさと緑の便り 菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先 さくちふるさと水源交流館
☎0968(27)0102

親子農業体験「おいしい村づくり」
子どもたちが自ら体験する喜びを学ぶ教育プログラム「おいしい村づくり」。地元のおじいちゃん、おばあちゃんの指導を受けながら、農作業から加工品づくりなどを学びます。里山のおいしい食べ物や、自然に包まれて暮らす人々の知恵を守り育てることもこの取り組みの目的です。
「おいしい村づくり」は毎月1回開催しています。6月は「田植え体験」です。泥んこになりながら、苗を手植えします。作業後の団子の味は格別ですよ。
開催期間 ～12月 毎月1回
※次回は5月10日(出)～(6月、7月、10月、12月は1泊2日で開催)



参加対象 小学1年生以上の子どもとその保護者
参加費 日帰り 1人1500円
宿泊 1人2500円

韓国発見シリーズ ⑦ 韓国発見シリーズ ⑦ 韓国発見シリーズ ⑦ 韓国発見シリーズ ⑦



韓国の英語公用語化論争

韓国で今年2月26日付けの新聞に、韓国内で英語公用語化すべきとの記事が載った。それによると、日常会話やマスメディアで氾濫する英語表現、英語教育にかける天文学的な費用などを考えると、英語を韓国の公用語とするのが良いと言った。
韓国での英語公用語化論争は今が初めてではない。最初に公論化した人は小説家ト・鉅一さんだ。彼は1998年、「国際語時代の民族語」という本で、これから国際化のためには母国語の代わりに国際語である英語を公用語として採択すべきだと主張した。彼の提案が朝鮮日報を通して報道されたとき賛否論争に火が付いた。2001年には英語を済州島の第2公用語と推進するという案や、2005年には仁川、釜山などの経済特区と済州道で英語を公用語として使おうという案もあった。
賛成する意見の大部分は経済的な面を強調する。▼国際化時代に韓国語のみを公用語とするのは国家発展を阻む要素になり

かねない▼民族のアイデンティティーと文化が消える心配はない▼英語は韓国語の語彙や表現上の限界を補ってくれると予想する▼英語を公用語化すれば英語教育にかける個人負担が減ると言っている。
反対論者は、▼小学校や中学校では既に英語を学んでいる▼英語を公用語化すれば民族のアイデンティティーが弱まる▼もしアメリカより中国が強国になれば中国語を公用語にするのか▼英語教育の個人負担は、むしろ英語公用語化により激しくなるだろうとの見解だ。英語が上手な階層とそうでない階層間の経済格差は大きくなり、英語が苦手な旧世代と上手な新世代との葛藤も反対の理由である。
今までの英語公用語化論争は結局ほとんどが保留状態である。ハンブル学会や言語研究院の反対があったからだ。情報化や国際化が進む中、今回紙面に登場した英語公用語論がどうなるか注目される。しかし韓国人の積極的な面と消極的な面が顕著に現われるのがこの論争にほかない。